

No. 1030

企業

zoom up

オンレイ

「床下冷暖全館空調システム」のオンレイ

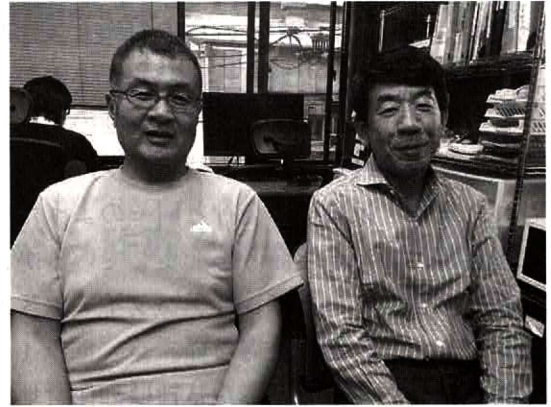
室内の温度調節に、冷暖房どちらも機能するエアコンは欠かせない存在。通常、このエアコンに加えて、寒い時は床下暖房やストーブ、ヒーターなどの暖房器具を、暑いときは扇風機などの冷房器具を組み合わせて使用していることだろう。それに対して（株）オンレイが開発した「Eシステム（床下冷暖全館空調システム）」は、床下も含めて一括で空調を管理できるものだ。

一般的な床暖房は、電気式またはヒートポンプ式。そのうち、ヒートポンプ式では温水を作り、それを流して温める方法が主力だ。この場合、温めることはできても冷やすことができない。床が結露してしまうためだ。

当社の「Eシステム」は、ヒートポンプで風をつくる。そのため、冷やすことも可能になった。温風または冷風を作り、ダクトを通して各階の床下空間に送り込むことで、家中を暖めたり冷やしたりできる。床全体と室内とを同時に調節することで室内の温度差も少なく、暖房の場合はヒートショックの心配も減る。そして何よりも、一括管理することによる、大幅なコストダウンを可能にしたことが最も大きなメリットだ。今年1月にはグレードアップした「E3システム」の販売も開始した。

代表取締役社長の藤田薫氏と代表取締役副社長の宮坂洋一氏は、創業時から藤田氏が営業、宮坂氏が開発を手がけ、二人三脚で歩を進めてきた。開業に向けて2人をつなげたのは、スポンサーとなり会長にも就任していた（株）木下工務店の創業者、木下長志氏。「木下会長がいなかったら開業

代表取締役社長の藤田薫氏（右）と代表取締役副社長の宮坂洋一氏（左）



していなかった」と藤田社長は語る。宮坂氏は社名について「“オンケン（温研）”にするつもりであることを相談したら、『“オンケン”？“オンレイ”の間違いだろう？』と言われて決まった」と当時を振り返る。木下氏は昨年92歳で亡くなられたが、2人の大事な恩師だ。

これまで大々的な広告は行わない方針で営業を展開しているが、口コミで広がり、一般住宅約5000棟に販売。現在は、一般家庭のほか、幼稚園、保育所、託児所、グループホーム、歯科医院などからも引き合いがある。直接取引を行う代理店は180社、商社経由は300社を超えるまでになった。

「売り上げ規模の拡大のみを目指してはしません。全国津々浦々で、私たちのシステムを使っていただけるように、地道に長く活動していきたい」と話す藤田社長。快適な住宅や施設を追求する二人三脚はこれからも続く。

（取材・文／東京支社情報部 下川 純）

会社概要

（株）オンレイ
 TDB企業コード：133005425
 法人番号：2010601042173
 東京都墨田区錦糸4-2-4、電話：03-5619-4601
 代表取締役社長：藤田 薫 氏
 設立：2011年12月
 資本金：1000万円
 事業内容：床下冷暖全館空調システムの販売
 年売上高：約5億円（2019年11月期見込み）
 従業員：6名
<https://www.onrei.jp/>